

# ぽっかぽか

志木市立宗岡第四小学校  
道徳だより 9月号  
平成30年10月3日(水)

道徳科といえば、善悪の判断、正直・誠実であること、親切・思いやり、規則の尊重などについて学習する、というイメージがある保護者の方も多いのではないのでしょうか。その中で今回取り上げるのは、国際理解・国際親善という内容についてです。グローバル化や東京オリンピックの開催に伴って、その必要性は高まっています。本校でも、児童が外国に親しみを持ち、調べ学習などの実践に発展させていけるような授業を目指し、取り組んでいます。

## 授業紹介：3年生「同じ小学校でも」 主題名：ちがいから

### 教材のあらすじ

「レンくん」は、毎年七月にハワイから帰ってくる男の子です。「ぼく」は、レンくんとの会話の中で、ハワイの小学校と日本の小学校では、いろいろな違いがあることに気がつきます。

ハワイの学校では、給食の準備やそうじは、自分たちでやらなくてよいこと。休み時間は、先生の見ているところでないと遊べないこと。授業中でも自由に水が飲めることなどです。

「ぼく」たちは、ハワイには日本人がたくさんいて日本語が通じることや、日本食、神社があるなど、ハワイと日本にはつながりもたくさんあることに気がつきました。そして、ちがうところだけでなく、どんなところでつながりがあるのか、もっと知りたくなりました。

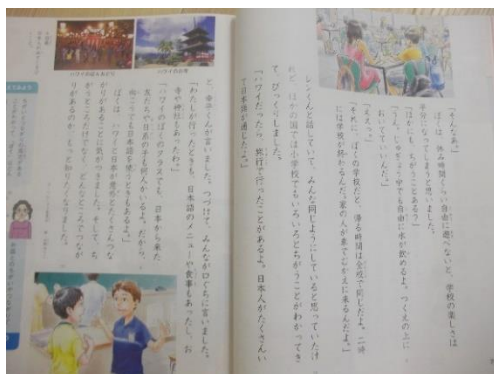
### 授業の様子

(左)

教科書には本文だけでなく、挿絵や振り返りが載っています。

(右)

道徳ノートを活用しています。



### 児童の反応

- ・ハワイと日本ですごく違って面白かった。
- ・ハワイと日本は、ちがいもあるけど同じものもあるとわかった。
- ・ハワイの学校の子供は何人いるんだろう。
- ・先生は何人いるんだろう。ハワイの給食はおいしいのかな。
- ・韓国ではライブ中に写真や動画を撮っているのが不思議。

### 教師から

授業のはじめに、「外国の小学校のことを何か知っていますか？」と児童に問いかけてみると、クラス全員が「知らない」との答えでした。本文を読み、ハワイと日本の小学校の違いについて話し合うと、様々な違いを知って驚いたという児童や、「他にはどんな違いがあるのだろう」と興味を示す児童が出てきました。

最後には範囲を広げ、日本と外国の繋がりについて話し合いました。飲食店やスポーツ選手、日本の電車が外国で走っていることなど、多くの意見を交換し、「東京オリンピックについて調べてみたい」という話も出ました。授業を通して外国への関心が高まったのではないかと感じた場面でした。国際理解・国際親善を深めるためには、外国の文化にたくさん触れることが大切です。ぜひご家庭でも、様々な国やオリンピックのことなど、話題にしてみてください。